SUP Surfing and Race Contest

STARBOARD CUP in Kakegawa 2026

STARBOARD

INNOVATION QUALITY

大会要項

1. 名称

STARBOARD CUP in Kakegawa 2026

2. 主催

スターボードジャパン株式会社

3. 共催

公益社団法人日本カヌー連盟（JCF）：SUP レース

4. 公認

一般社団法人日本スタンドアップパドルボード協会（SUPA）：SUP サーフィン＆SUP レース

5. 後援

掛川市

6. 協賛

掛川観光協会大東支部／株式会社企画基地／株式会社 KGI（JET PILOT）／株式会社 Unico（TRUMP WETSUITS）／有限会社ファクトリーゼロ（FACTORY-ZERO）（五十順で記載）／

7. 協力

NPO 法人掛川市スポーツ協会／U.S.P.R. 静岡県水上オートバイレスキュー連合体／NSA 静岡 3 区・NSA 静岡 2 区／JCF SUP＆オーシャン委員会／リバティーリゾート大東温泉／Swell Ocean Sports／株式会社トシズマリンプロジェクト／スターボードジャパンチームライダー（順不同）

8. 特別パートナー

キーン・ジャパン合同会社（KEEN）

本大会は、海と共にあるフィールドスポーツとしての SUP の価値を大切にしています。KEEN 様との協力のもと、ビーチフィールドにおける環境配慮および参加者導線設計において協力を予定しています。

9. 日程

2026 年 7 月 11 日（土）～2026 年 7 月 12 日（日）

10. 会場

静岡県掛川市リバティーリゾート大東温泉前海岸

＊駐車場は、「リバティーリゾート大東温泉 様」の駐車場が使用可能です。

11. 競技種目

（1）SUP サーフィン（予選＋決勝）	［2026 年 7 月 11 日（土）］
（2）SUP テクニカルレース（1km コース予選＋決勝）	［2026 年 7 月 12 日（日）］
（3）SUP ファンイベント（体験会＋エキシビションレース）	［2026 年 7 月 12 日（日）］

12. 参加資格

本大会には、以下のすべての条件を満たす者が参加できるものとする。

① 参加選手のみならず、その保護者、同行者、運営スタッフ、ボランティアスタッフを含むすべての関係者（以下「大会関係者」という。）において、心身の健康を保持し、主催者が講じる安全対策および感染症対策に協力できる者であること。

② 大会参加にあたり、競技ルールおよび大会規定を遵守し、自己の身体および使用する道具に関する一切の責任が自己に帰属することを理解・承諾できる者であること。
また、本大会へのエントリーをもって、免責同意書と同等の効力を有することに同意したものとみなす。

③ 大会期間中に撮影された写真、映像等について、主催者が広報・記録等の目的で使用および転載する権限を有することに同意できる者であること。

④ 本大会要項に記載されているすべての事項を理解し、了承のうえで参加できる者であること。

⑤ 海を愛し、かけがえのない自然環境を大切にする意識を有する者であり、あわせて SUP を愛し、使用ギアやメーカーの垣根を越えて SUP 競技全体を盛り上げようとする姿勢を有する者であること。

13. 日程

◯2026 年 7 月 11 日（土）SUP サーフィン

6：00 ～ 7：00	選手受付、開会式
7：00 ～ 7：15	選手ミーティング
7：30 ～ 16：00	SUP サーフィン競技開始
16：00 ～ 17：00	競技終了、表彰

◯2026 年 7 月 12 日（日）テクニカルレース（1km）・ファンイベント（体験会＋エキシビションレース）

7：00 ～ 8：00	選手受付・コースオープン
8：00 ～ 8：15	コースクローズ・会場準備
8：15 ～ 8：45	選手ミーティング
8：45 ～ 9：00	選手編成
9：00 ～ 15：00	SUP レース競技開始
15：00 ～ 16：00	競技終了、表彰、閉会式

＊昼予備時間にファンイベントを実施する予定です。

14. 参加クラス

◯SUP サーフィン

スペシャル メン	8 名
スペシャル ウィメン	8 名
オープン メン	24 名
オープン ウィメン	20 名
オープン マスター メン	24 名
オープン カフナ メン	20 名
ビギナー メン	12 名
ビギナー ウィメン	12 名
ロングボード メン	12 名
ロングボード ウィメン	12 名
ロングボード　スペシャル（男女混合）	10 名
ジュニア（男女混合）	8 名
SUP FOIL（男女混合）	10 名
GENERATION（男女混合・長さは問わない）	10 名
ツインフィンクラス（男女混合）	10 名

＊マスタークラスは、2026 年 7 月 11 日（土）時点で満 40 歳以上 59 歳以下の参加者に限る。

＊カフナクラスは、2026 年 7 月 11 日（土）時点で満 60 歳以上の参加者に限る。

＊ビギナークラスは、過去にオープンクラスで SUPA 公認大会に出場経験のない方を対象とする。

＊ロングボードクラスは、ボードの全長が 9’0”（9 フィート）以上であること。ヒート終了後にランダムで計測を行う場合がある。

＊ジュニアクラスは、2026 年 7 月 11 日（土）時点で満 12 歳以上 18 歳以下の参加者に限る。同クラスに出場する選手は、安全管理上の理由により保護者の同意書提出を必須とする。なお、ジュニアクラスは他クラスとのダブルエントリーを認めない。

＊ツインフィンクラスは、ツインフィン（フィン 2 枚）として設計されたボード特性を生かした自由なライディング・スタイルを楽しみ、評価するクラスである。本クラスで使用できるボードは、ツインフィン仕様を前提として設計されたボードに限るものとし、市販のプロダクションモデルおよび同仕様のカスタムボードの使用を認める（STARBOARD 製品には限らない）。以下に該当するものは、ツインフィンクラスの使用ボードとして認めない。

・本来、シングルフィン、スラスター、クアッド等として設計されたボードに対し、フィン数のみを 2 枚に変更したもの

・ツインフィンとしての使用を想定していないフィンプラグ配置、アウトライン、ロッカー形状等を有するボード

レースボード等、明らかに本クラスの趣旨と異なる用途・設計のボードフィンの形状、サイズ、材質、取り付け角度等については制限を設けないが、安全面および競技運営上支障がないと主催者が

判断したものに限り使用可能とする。使用ボードについては、大会当日にビーチマーシャルによる検艇を実施し、本規定に適合しないと判断された場合は、当該クラスへの出場を認めないことがある。なお、ボードサイズ（全長・幅・厚さ等）については、上限および下限を設けないものとする。

＊サーフィン競技においては、複数カテゴリーへのエントリーを可能とする。ただし、競技進行上、ヒートが連続して実施される場合や、勝ち上がりによりヒート時間が重複する可能性がある。なお、1 回戦については、原則としてヒートが重複しないよう配慮するが、競技全体の円滑な進行を優先し、進行を止める対応は行わない。このため、やむを得ずヒートが重複した場合には、主催者の判断により、いずれか一方のカテゴリーを選択して出場してもらうことがあることを、あらかじめ了承するものとする。

＊SUP FOIL、GENERATION、ツインフィンクラスは R1 および SF までの実施とし、SF 順位を最終順位とする。ロングボードスペシャル（男女混合）は決勝を実施する。

＊SUP FOIL、GENERATION、ツインフィンクラスは、競技特性および大会運営上の都合により、通常ヒート形式ではなく、Expression Session 形式、Jam Session 形式、または特別ヒート形式にて実施する場合がある。順位決定方法、実施ヒート数、競技時間等については、海況およびエントリー数を踏まえ、大会本部判断により変更する場合がある。

＊各クラスのエントリー数が 4 名未満の場合、原則として他クラスとの統合クラスとなる場合がある。

◯SUP レース

【日本代表選手選考クラス】オープン男子	14’0 ft ハードボード
【日本代表選手選考クラス】オープン女子	14’0 ft ハードボード
【日本代表選手選考クラス】ジュニア男子	14’0 ft ハードボード
【日本代表選手選考クラス】ジュニア女子	14’0 ft ハードボード
エリート 男子	14’0 ft ハードボード
エリート 女子	14’0 ft ハードボード
オープン 男子	艇種は問わない
オープン 女子	艇種は問わない
インフレータブル 男子	インフレータブルボード（長さは問わない）
インフレータブル 女子	インフレータブルボード（長さは問わない）
40+ 男子	艇種は問わない
40+ 女子	艇種は問わない
50+ 男子	艇種は問わない
50+ 女子	艇種は問わない
GENERATION 男子	長さは問わない
GENERATION 女子	長さは問わない
ジュニア男女混合	艇種は問わない
キッズ男女混合	艇種は問わない
オールラウンド男女混合	レース専用として発売されていないボード
サーフボード男女混合	サーフボード形状 ＊備考参照

SUP FOIL エキシビジョン	艇種・FOIL 形状は問わない

＊JCF 日本代表選手選考クラスの選手は、公益社団法人日本カヌー連盟令和８年度賛助会員 A 登録であること。なお、日本代表選手は後日開催される日本カヌー連盟選手選考委員会により正式決定となる。

＊JCF 日本代表選手選考クラスは、同日に実施する 2 レースの総合ポイントにより順位を決定する。各レースの順位に応じて与えられるポイント（1 位 1 点、2 位 2 点…）を合算し、合計ポイントが少ない選手を上位とする。同ポイントの場合は第 2 レースの順位を優先する。

＊JCF 日本代表選手選考クラスにおいて、オープンクラスは、2026 ICF STAND UP PADDLING (SUP) WORLD CHAMPIONSHIPS（以下、対象競技会）の開催年に 15 歳以上の誕生日を迎える選手（2011 年 12 月 31 日までに生まれた選手）、ジュニアクラスは、15 歳から 18 歳の誕生日を迎える選手（2008 年 1 月 1 日から 2011 年 12 月 31 日までに生まれた選手）が対象となる。同選考クラスに対してエントリーした時点で出場意思を持っているとみなす。詳細については、2026 年度公益社団法人日本カヌー連盟 SUP 日本代表選手の選考方法（https://sites.google.com/view/jcfsup2026/お問い合わせ?authuser=0#h.y31ic4bp25gl）を必ず確認すること。

＊40+クラスは、2026 年 7 月 12 日（日）時点で満 40 歳以上 49 歳以下の参加者に限る。

＊50+クラスは、2026 年 7 月 12 日（日）時点で満 50 歳以上の参加者に限る。

＊GENERATION クラスは、STARBOARD 社製の GENERATION ボード使用者に限る。ボードサイズ（長さ・幅・等）については、上限および下限を設けない。

＊JCF 代表選考クラスではない、一般クラスのジュニアクラスは、15 歳から 18 歳の誕生日を迎える選手（2008 年 1 月 1 日から 2011 年 12 月 31 日までに生まれた選手）が対象となる。キッズクラスは、10 歳から 14 歳の誕生日を迎える選手（2012 年 1 月 1 日から 2016 年 12 月 31 日までに生まれた選手）が対象になる。同クラスに出場する選手は、安全管理上の理由により保護者の同意書提出を必須とする。なお、ジュニアクラス・キッズクラスは他クラスとのダブルエントリーを認めない。

＊オールラウンドクラスにおいて使用できるボードは、レース専用として発売されていないボードであり、クルージング、フィットネス、サーフィンなど、多目的に使用されるオールラウンド形状の SUP ボードとし、市販のプロダクションモデルを基本とする。同形状のカスタムボードについても使用可だが、レース用に設計・販売されているボード、ならびに改造ボードの使用は認めない。なお、ボードサイズ（長さ・幅・厚さ等）については、上限および下限を設けない。

＊サーフボードクラスにおいて使用できるボードは、サーフボード形状であり、市販のプロダクションモデルとして販売されているものを基本とし、同形状のカスタムボードについても使用可とする。ただし、レースボードおよび改造ボードの使用は認めない。なお、ボードサイズ（長さ・幅・厚さ等）については、上限および下限を設けない。

＊全てのクラスにおいて、使用ボードについては、主催者が安全面および競技運営上支障がないと判断したものに限り使用可能とする。

＊各クラスのエントリー数が 4 名未満の場合、原則として他クラスとの統合クラスとなる場合がある。統合クラスとしてレースまたは競技を実施した場合でも、表彰および最終順位は、原則として各クラスごとに決定する。

＊SUP レースにおいて複数カテゴリーへのエントリーを認める場合があるが、競技進行および安全管理上の都合により、主催者判断にて出場クラスを制限する場合がある。

15. 競技方法

◯SUP サーフィン

【共通事項】全クラス共通

（1）競技運営および進行は、一般社団法人日本スタンドアップパドルボード協会（SUPA）競技ルールに準じて実施する。

（2）ただし、本大会においては、一部において大会特別ルールを優先する場合がある。

（3）使用できるパドルは、シングルブレードパドルのみとする。

（4）参加選手は、競技中必ずリーシュコードを着用することを義務とする。

（5）使用するボードおよび用具については、主催者が安全面および競技運営上支障がないと判断したものに限り使用可能とする。

（6）本大会は競技進行上、2 海面（A／B）で同時進行する場合がある。

（7）ヒート時間は原則 10 分とし、進行状況および海況により大会本部の判断で変更する場合がある。決勝は原則 15 分とする（海況・進行により変更する可能性がある）。

（8）ダブルエントリーによりヒート時間が重複した場合、競技の円滑な進行を優先し、大会本部の判断によりいずれか一方のカテゴリーを選択して出場してもらう場合がある（待機による進行停止は行わない）。

＊競技スケジュールおよびヒート表は当日または事前に別紙にて提示する。

【一般クラス】競技方法

（1）各クラスの採点は、公益社団法人日本サーフィン連盟（NSA）の採点基準を用いる。

（2）競技ルールは、SUPA 競技ルールに準じて実施する。

（3）ジャッジングは NSA 採点基準に基づき、各クラスの特性（年齢、レベル、使用ボード等）を考慮した評価を行う。採点は、波の選択、マニューバーの種類および完成度、スピード・フロー、ボード・パドルのコントロール、ライディング全体の印象の要素を総合的に評価し、完成度・安定性・全体的なバランスを重視して行うものとする。

【SUP FOIL／GENERATION／ツインフィン】競技方法（特別規定）

(1) 本クラスは、公益社団法人日本サーフィン連盟（NSA）の採点基準を基本とする。ただし、本クラスの特性を踏まえ、順位決定・評価方法については本大会特別規定を優先する。

(2) ジャッジングは、使用ボードおよびフィン・FOIL 等の用具特性を生かしたライディング、波のセレクション能力、スムーズなテイクオフとスピードコントロール、フローのあるターン、トリム、ライン取り、創造性・独創性、安定性および安全配慮を伴ったライディングを重視して行うものとする。

＊高難度動作のみを過度に評価することは行わず、スタイル・完成度・表現力を重視する。

◯SUP レース

（1）公益社団法人日本カヌー連盟（JCF）日本代表選考クラスについては、当日の順位表彰とは別に、競技結果および内容をもとに、公益社団法人日本カヌー連盟 SUP&オーシャン委員会による選考・内定手続きが行われる。なお、日本代表選考クラスにおいては、選考手続きとの関係上、当日の表彰式を実施しない、または簡略化する場合がある。

（2）JCF 公認クラス以外のすべてのクラスについては、（一社）日本スタンドアップパドルボード協会（SUPA）レース競技規則に準じて実施する。ただし、本大会要項に定める特別ルールがある場合は、これを優先する。

（3）すべての参加選手は、競技中ライフジャケットおよびリーシュコードの着用を義務付ける。なお、すべてのクラスに関しては、膨張式浮力体（インフレータブルタイプのライフジャケット等）の使用は禁止とする。本規定は、転倒・落水時の安全確保、視認性向上、ならびに救助活動を円滑に行うことを目的とするものであり、着用義務を遵守しない選手は、出艇不可または失格とする場合がある。

（4）使用できるパドルは、シングルブレードパドルのみとする。ダブルブレードパドルの使用は認めない。

（5）制限時間は以下のとおり定める。

・1km テクニカルレース

各クラスにおいて、トップ選手がフィニッシュしてから 5 分以内を制限時間とする。

・エキシビションレース

各クラスにおいて、トップ選手がフィニッシュしてから 10 分以内を制限時間とする。

＊当該制限時間を超えてフィニッシュした選手については、順位認定外（DNF 扱い）または完漕扱いとする。

＊ただし、競技運営および安全管理上の理由により、大会本部の判断により、所定の制限時間内外を問わず、レース途中で競技を終了させる場合がある。競技の進行状況を踏まえ、大会本部が総合的に判断するものとする。

（6）使用するボードおよび用具については、主催者が安全面および競技運営上支障がないと判断したものに限り使用可能とする。

（7）競技時間中における選手の練習およびウォームアップについては、主催者が指定する練習区域内に限り実施を認めるものとする。

競技エリアおよびコース内においては、競技進行および安全確保の観点から、競技中以外の練習行為を禁止する。また、練習区域の位置、利用可能時間、入水・退水方法等の詳細については、競技当日の選手ミーティングにて説明し、主催者の指示に従うものとする。なお、主催者または大会役員が、安全上または競技運営上支障があると判断した場合は、練習区域の使用制限、変更、または一時的な利用中止を行うことがある。

（8）SUP FOIL は、SUP レースの一部として実施するエキシビション競技とし、観戦価値の向上および将来的な競技展開を目的とする。主催者が招待する選手（国内外トップ選手・招待ライダー等）のみが参加できるものとし、公式順位、記録、ポイント付与は行わない。コースレイアウト、距離および競技形式は、当日の海況および安全管理体制を踏まえ、大会本部の判

断により決定・変更・短縮または中止する場合がある。使用ボードおよびFOILは、市販モデルまたは同等仕様のカスタムボードとし、安全面および競技運営上支障がないと主催者が判断したものに限り使用可能とする。競技中はライフジャケットおよびリーシュコードの着用を必須とし、レスキュー体制を確保したうえで実施する。安全確保が困難と判断された場合は、他競技に優先して中止する。本競技はエキシビションとして実施するため、原則として表彰は行わない。

16. 表彰

◯SUP サーフィン：各クラス 第1位～第4位まで表彰する。

◯SUP レース：各クラス 第1位～第3位まで表彰する。

＊ 代表選考クラスについては、順位表彰とは別に、競技内容に基づく評価および選考を行うものとする（当日の表彰は実施しない可能性がある）。

＊エキシビションとして実施されたクラスについては、原則として表彰の対象外とする。ただし、主催者判断により特別表彰を行う場合がある。

17. エントリー費

本大会のエントリー費は、以下の運営コストおよび大会品質を維持するため、適正な水準として設定しています。

・競技運営費（ジャッジ・マーシャル・スポッター配置、レース審判員等）
・海上および陸上の安全管理体制（レスキュー、監視、備品等）
・設営や撤収費、計測や進行管理費
・保険料、各種許認可手続き費用
・表彰、記念品等の大会運営諸経費

また、SUPA 会員については、大会普及および地域連携の観点から参加しやすい料金設定としています。一部クラス（ジュニア／ビギナー／SUP FOIL／GENERATION／ツインフィン）については、競技特性および参加促進を目的として、特別料金を設定しています。

◯ SUP サーフィン

シングルエントリー（1種目のみ）

・一般：10,000 円
・SUPA 会員：9,000 円

-特別料金対象クラス（ビギナー／ジュニア／SUP FOIL／GENERATION／ツインフィン）-

・一般：5,500 円
・SUPA 会員：4,500 円

※ 競技特性および参加促進を目的とした特別料金です。

ダブルエントリー（2種目分）

・一般：15,000 円
・SUPA 会員：14,000 円

◯SUP レース

・一般：6,000 円

・SUPA 会員：5,000 円

-特別料金対象クラス（キッズ／ジュニア／オールラウンド／サーフボード／SUP FOIL）-

・一般：4,500 円

・SUPA 会員：3,500 円

◯公益社団法人 日本カヌー連盟（JCF）日本代表選考クラスに関する会員登録料について

JCF 日本代表選考にエントリーする選手は、該当年度の賛助会員 A 登録が別途必要となります。当該会員登録は本大会のエントリー費には含まれておらず、各自の責任において、事前に申込みおよび登録料の支払いを行うものとします。賛助会員 A 登録が確認できない場合、当該レースへの出場資格を認めない場合があります。

18. エントリー

本大会へのエントリーは、エントリープラスにて所定の手続きを行ってください。

◯大会エントリーURL：https://entryplus.jp/event.html?ID=s6XRTl

（エントリープラスにて「STARBOARD CUP in Kakegawa 2026」検索 ID: s6XRTl）

◯申込期間：申込締切：2026 年 7 月 5 日（日）23:59 まで

＊一度入金されたエントリー費については、参加者都合によるキャンセル、ならびに悪天候等を含むいかなる理由においても返金は行いません。

＊天候不良、自然災害、その他やむを得ない事由により大会が中止となった場合においても、エントリー費の返金は行いません。

＊ただし、大会が中止となった場合は、翌年開催予定の同大会に限り、エントリー費を免除する措置を予定しています（詳細は別途案内します）。

19. 問い合わせ

〒580-0023　大阪府松原市南新町 5-7-12 スターボードジャパン株式会社

customer@starboard-japan.com

安全対策

1. 参加者への義務づけ
   ・当日における参加者の健康状態の確認
   ・出艇前の船体及び艤装品、その他道具の点検確認
   ・浮力体の着用確認

2. 救助艇の配備
   救助用ジェットスキー（PWC）を必要数（最低 1 艇）配備する。なお、SUP レースにおいては、PWC を 2 艇配置する。落水し、自分で乗り込める場合は、自分で再乗艇し、乗り込めない場合は救助艇にて救助を行う。救助基準は下記の通りである。

   ・救助基準
   ① 身体の疲労が激しくなり、再起不可能になった場合
   ② 艇体及び艤装品のトラブルにより、再起不可能になった場合
   ③ 天候の急変によりレースが実施不可能になった場合
   ④ その他、行事参加者が救助を要求した場合

3. 救助方法
   再起不可能になった場合、または身体の疲労が激しい場合は、救助艇が近づき、ロープ等を用いた曳航によって、あるいはライフスレッドを用いた PWC レスキューによって陸上まで運ぶ。

4. 海上本部及び陸上本部間の連絡方法
   救助艇と陸上の大会本部は、デジタルトランシーバーによって連絡をとる。

5. 中止基準
   安全に競技を進行できない天候になった場合、競技を中止する。原則として、中止基準は、SUPA ルールにおける中止基準に則ることとする。ただし、本大会においては、一部において大会特別安全基準を優先する。また下記以外の場合において、本部の総合的な判断で安全な大会運営が実施できない判断した場合は競技中止とすることもある。

   ◯SUP サーフィンの場合
   ① 風速：平均風速（10 分間の平均）15m/s 以上
   ② 最大波高：5m 以上
   ＊津波注意報以上が発令された場合

   ◯SUP レースの場合
   ① 風速：平均風速（10 分間の平均）10m/s 以上

② 最大波高：2m 以上
③ 視界距離：2km 以下
＊津波注意報以上が発令された場合

6. 関係機関各所への連絡
大会開催期間の競技開始時、終了時及び、競技中止の場合は速やかに関係事務所へ連絡する。

7. その他
・海事法令の遵守
・地域医療センターでの当日救急病院の確認（掛川南消防署との連携）
・AED 及び救急箱の備え
※当日の海上安全管理及び上記 2、3、4、5、6 については、第３管区海上安全指導員　野口貴史氏に一任

交通対策

1. 場内及び、その周辺の交通整理
本大会の準備期間および開催期間中における駐車場ならびにその周辺区域の利用については、大東温泉の施設案内および利用規則を遵守することを前提とする。主催者は、大東温泉施設管理者と連携のうえ、必要に応じて係員を配置し、交通整理、事故防止等の安全管理に努めるものとする。来場者、参加選手および関係者は、施設案内および現地係員の指示に従い、周囲の状況に十分留意したうえで、自己の責任において安全確保および貴重品管理等を行うものとする。なお、主催者および大会責任者は、大東温泉の施設案内および利用規則に基づき、通常講ずべき安全対策を実施した上で発生した事故、盗難、その他のトラブルについては、主催者の責に帰すべき事由がある場合を除き、その責任を負わないものとする。

設営状況

1. 申請
海岸使用にあたり、関係事務所に必要な申請をする。

2. 設営物
・3 坪テント 4 張り、テーブル、椅子等
・掲示板等
・旗、横断幕等

3. 設営物
別紙のとおり

4.　設営物

・設営：令和 8 年 7 月 10 日（金）

・撤去：令和 8 年 7 月 12 日（日）

5.　撤去その他

ゴミは、毎日競技終了後、関係者全員で収集してゴミ処理場へ運搬する。

ビーチクリーンを行う場合は、かけがわ美化推進ボランティア登録団体と協力する

□届出書類提出責任者

〒437－1622　御前崎市白羽 6621－1070

大会事務局　　野口貴史（U.S.P.R. 静岡県水上オートバイレスキュー連合体）

固定電話：0548－63－3747　携帯電話：090－4797－7863

□開催期間の責任者

〒580－0023　大阪府松原市南新町 5－7－12

スターボードジャパン株式会社　中釜洋一（代表社員）

Tel/Fax　072－247－7841　携帯 090－3844－3732

□本大会の責任者

〒580－0023　大阪府松原市南新町 5－7－12

スターボードジャパン株式会社　中釜洋一（代表社員）

Tel/Fax　072－247－7841　携帯 090－3844－3732

大会責任者　中釜洋一
携帯電話　090-3844-3732

安全管理者　野口貴史
携帯電話　090-4797-7863

大会時緊急連絡体制表

海上本部（現場）　　大会本部

レスキュー班（U.S.P.R.）
野口貴史　090－4797－7863
増田一樹　090－9898－0052

中東遠総合医療センター
ＴＥＬ　0537-21-5555

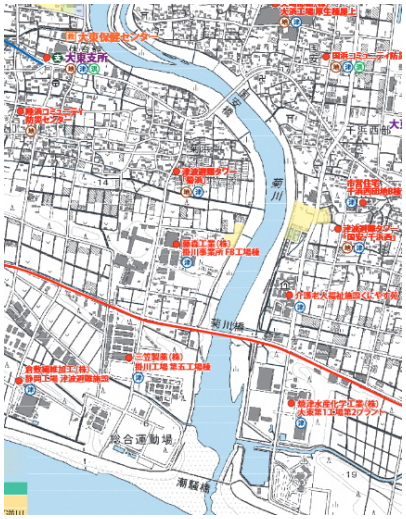
国土交通省平田出張所
ＴＥＬ　0537--73－2051
休日緊急用　090-3380-0743

御前崎海上保安署
ＴＥＬ　118
ＴＥＬ　0548－63－4999

掛川南消防署
ＴＥＬ　119
ＴＥＬ0537-48-0139

掛川警察署
ＴＥＬ　110
ＴＥＬ　0537-22-0110

大会エリアハザードマップ

※大会での事故等があった場合は必要に応じ直ちに大会本部より上記の連絡網に早急に連絡をし、要救助者及び怪我人等の対応及び救助にあたります。

※大規模災害時は公務機関に直ちに連絡し連携を図り、
大会関係者の安全を第一に避難させ必要に応じ救助活動にあたります。